

キッチンフードファン取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- 取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の結表示で区分し、説明しています。

結表示の例

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。
- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起すことがあります。

注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電することがあります。

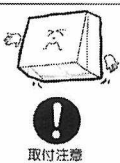
注意

- 交流100V以外では使用しないこと
発火・感電の原因となります。
- 羽根や部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にすること
誤った配線工事は感電や発火の恐れがあります。
- 運転中は羽根の中に指や物を入れないこと
けがをすることがあります。
- 本体の取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下により、けがをすることがあります。
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
(浴室用換気扇をお使いください。)
感電および故障の原因となります。

取り付け前の調査と準備

注意

- キッチンフードファン本体の取り付け工事は十分強度のある取付け面または補強板等に確実にすること。
落下によりけがをすることがあります。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- キッチンフードファン取付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているかを確かめること。
本体の取り付け用木ねじは、45mmの長さのものと同梱されておりますが壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取り付け用木ねじが確実に木部に届くことを確認してください。



1. 取り付け面の強度確認

幅	重さ
600幅	13.0kg
750幅	15.0kg
900幅	16.0kg

- 板張りの場合
 - 板厚が20mm以上の場合は直接に取り付けてください。
 - 板厚が20mm以下の場合は壁に補強板を埋め込み補強板にキッチンフードファンを取り付けてください。
- コンクリート、タイル張りの場合
 - あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。
- 土壁の場合
 - 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2. 別売部品の準備

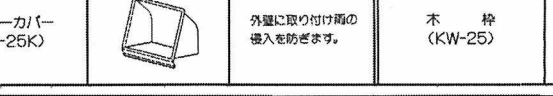
- 排気工事に伴った別売部品の準備が事前に必要です。(詳しくは別売部品の項を参照ください。)
- 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は、ガス器具の上からキッチンフード下面まで80cmです。
※火災予防条例では、グリッドフィルターの下端がレンジの真上80cm以上必要となっています。

3. 標準取付寸法



4. 電源コンセント

- コンセントは専用コンセントを設置してください。(交流・単相 100V)
コンセントは、JIS C8303 2極差し込み接続器 15A 125Vをご使用ください。



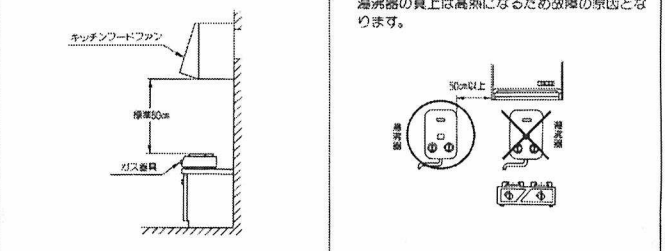
取付上のご注意

- ガス器具の幅はキッチンフードファンの幅以内のものをご使用ください。
ガス器具はキッチンフードファンの前面より手前にはみ出して設置しないでください。
排気効率が低下します。
- キッチンフードファンの取り付けは、薄板の金属部(壁内ラッパ等)と接触しないように、十分に注意して工事してください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。
漏電した場合発火することがあります。

- 排気工事をされる場合建築基準法(向風工令)および消防法等の関連法規に従って施工してください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効率をいじりすぎて低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

- 室温が40℃以上になるところには取り付けしないでください。
火災・故障の原因となります。
- 製品の仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

- 電源は専用コンセントを設けてください。
火災・感電の原因となります。
- 製品の取付け工事は手袋を着用してください。
薄板の切り口などでけがをすることがあります。



- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm²程度の空気取入口を設けてください。
- 部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集されませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすべった換気ができます。

別売部品	品名	略図	用途	品名	略図	用途	品名	略図	用途
	ウェザーカバー (WK-25K)		外壁に取り付け時の侵入を防ぎます。	木 枠 (KW-25)		換気扇を取り付ける際、内壁にメタルラス張りやワイヤラス張りがある場合に用います。	絶縁枠 (FZ-25)		内壁に金属板(ステンレスなど)がある場所用います。

各部の名称	製品寸法図	付属品												
前板 固定金具 スロットフィルター		<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>略図</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取付ねじ</td> <td></td> <td>本体の取り付けに使用します。</td> </tr> <tr> <td>つまみボルト</td> <td></td> <td>換気扇の取り付けに使用します。</td> </tr> <tr> <td>木ねじ</td> <td></td> <td>(φ4.1×16) 4本</td> </tr> </tbody> </table>	品名	略図	用途	取付ねじ		本体の取り付けに使用します。	つまみボルト		換気扇の取り付けに使用します。	木ねじ		(φ4.1×16) 4本
品名	略図	用途												
取付ねじ		本体の取り付けに使用します。												
つまみボルト		換気扇の取り付けに使用します。												
木ねじ		(φ4.1×16) 4本												

取り付けかた

1. 本体の準備

- スロットフィルターを外します。
フィルターのとってを持ち奥に押しやうにして取り外します。
- コネクターを外します。
コネクターの押え部をつまんで引き抜きます。
- 前板を外します。
固定金具を上からスライドさせ、前板を手前に引いて外します。
- 換気扇を外します。
換気扇はキッチンフード天井部に換気扇固定金具で固定されています。取付ねじを外し換気扇を取り外します。(取り外した換気扇固定金具と取り付けねじは各2ヶは不要です。)
- 排気口をあけます。
排気方向に合わせて、本体のハーフカットを打ち抜いて排気口をあけます。(ハーフカットは、ドライバー等をあてて小型のハンマーでたたかるとあきます。)

2. 排気用部品の準備

警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電することがあります。

注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
(浴室用換気扇をお使いください。)
感電および故障の原因となります。

※製品寸法図を参照して排気的位置を決めてください。

- 壁面に木枠を取り付ける。
(1) 木枠は内寸法300mm×300mmで作ってください。
木枠は20mm以上の板厚を使用してください。
(木枠は、別売品として換気扇用木枠KW-25を用意していますのでご利用ください。)
- 木枠寸法に合わせて、壁面に孔をあけてください。
(取り付け位置は、製品寸法図と右図を参照してください。)
- 木枠を壁に取り付けてしっかり固定してください。
(固定が不十分ですと騒音や雨漏りの原因となりますのでご注意ください。)
- 内壁に金属板(ステンレスなど)がある場合には別売の絶縁枠(FZ-25)を取り付けてください。(取付方法は絶縁枠の取付説明書をご参照ください。)

3. 本体の取り付け

注意

- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下により、けがをすることがあります。

- だるま穴用座付ねじをねじ込む。
だるま穴位置(左右各1カ所)に座付ねじ(φ5.1×45)を壁面との隙間5mmまで締めつけてください。
- だるま穴用座付ねじに本体を引っ掛けた後、座付ねじ(φ5.1×45)で本体取付穴2カ所をしっかりと締めつけてください。
- だるま穴用座付ねじ(左右各1カ所)をしっかりと締めつけてください。

4. 換気扇の取り付け

- 換気扇本体から、ツマミ、羽根、カバーを外してください。
- 換気扇本体を木枠にはめ込み、換気扇本体側から付属のつまみボルト2本でしっかりと締め付けるか、あるいは付属の木ねじ(φ4.1×16)4本で締めつけるかして固定し、ツマミと羽根とカバーを取り付けてください。
- 換気扇からのコードを調整してコード引掛金具でとめてください。

5. 組み立て

注意

- 羽根や部品の取り付けは確実にすること
落下により、けがをすることがあります。
- 前板を取り付け、コネクターを接続します。
 - スロットフィルターを取り付けます。
 - 別売品のウェザーカバー(WK-25)を取り付けてください。

ご注意
コネクターは確実にさしこんでください。
運転ができない恐れがあります。

6. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

注意

- 交流100V以外では使用しないこと
発火・感電の原因となります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にすること
誤った配線工事は感電や発火の恐れがあります。
- コンセントは専用コンセントをご使用ください。
■電源プラグをコンセントに差し込みます。

7. 試運転

注意

- 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと
けがの恐れがあります。
- スイッチを押して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書の4ページをご覧ください。
- 運転時、排気圧が正しく行われていること。
- 照明設置付きの場合は照明が正常に点灯すること。
- 異常な騒音・振動がないこと。

8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

(製造元) 富士工業株式会社
本社・営業部 〒229-0006 相模原市海防2丁目1番9号
TEL. 042/7531001(代表) 042/768/3754(営業部)